



当社の DX 推進の取り組みの追記について

DX 推進担当取締役 古田 耕児

=====
本取り組みを公表してから 1 年が経ちました。その間に中期経営計画も公表して DX 推進についても盛り込まれました。また DX 推進の進捗も含めて、2023 年 1 月版として追記させていただきます。

2021 年 10 月 18 日版のあとに追記部分を記させていただきました。

2023 年 1 月 18 日

当社の DX 推進の取り組みについて

DX 推進担当取締役 古田 耕児

=====

2018 年 9 月に経済産業省より公開された「DX レポート」、2020 年 12 月の「DX レポート 2」にある DX 推進の重要性を認識して、当社においても「IT 技術を駆使して、経営判断・行動判断をおこない、企業の変革を目指す」ことを推進することとなりました。

自らの変革に加え、お客様の DX 推進にも活かすことができる製品・ソリューションの提供をしていきます。

2020 年度に実施したことも含め、当面の計画を 2024 年度までの目標達成として推進してまいります。

【1】DX 推進骨子

次の 3 点を骨子として推進をしていきます。

- 骨子 1. 営業面、人事面、業務処理面において長年蓄積したデータを活かして、行動分析・効果分析をおこない、行動・判断に反映させる。
- 骨子 2. 情報セキュリティを維持した IT 基盤の充実と業務遂行環境の継続的な提供をおこなう。
- 骨子 3. デジタルマーケティングはじめ IT 技術を用いた業務遂行を試していくことで、ワーキングスタイルを変革する。

【2】DX 推進全体に基づいた主な施策

1) 人材育成

- ・情報セキュリティ関連の人材育成
- ・経営層に対する DX 推進の教育を優先して実施する

2) DX 推進の社内啓蒙

- ・2021 年 4 月社内事業説明会から実施中

3) PDCA の運用実施

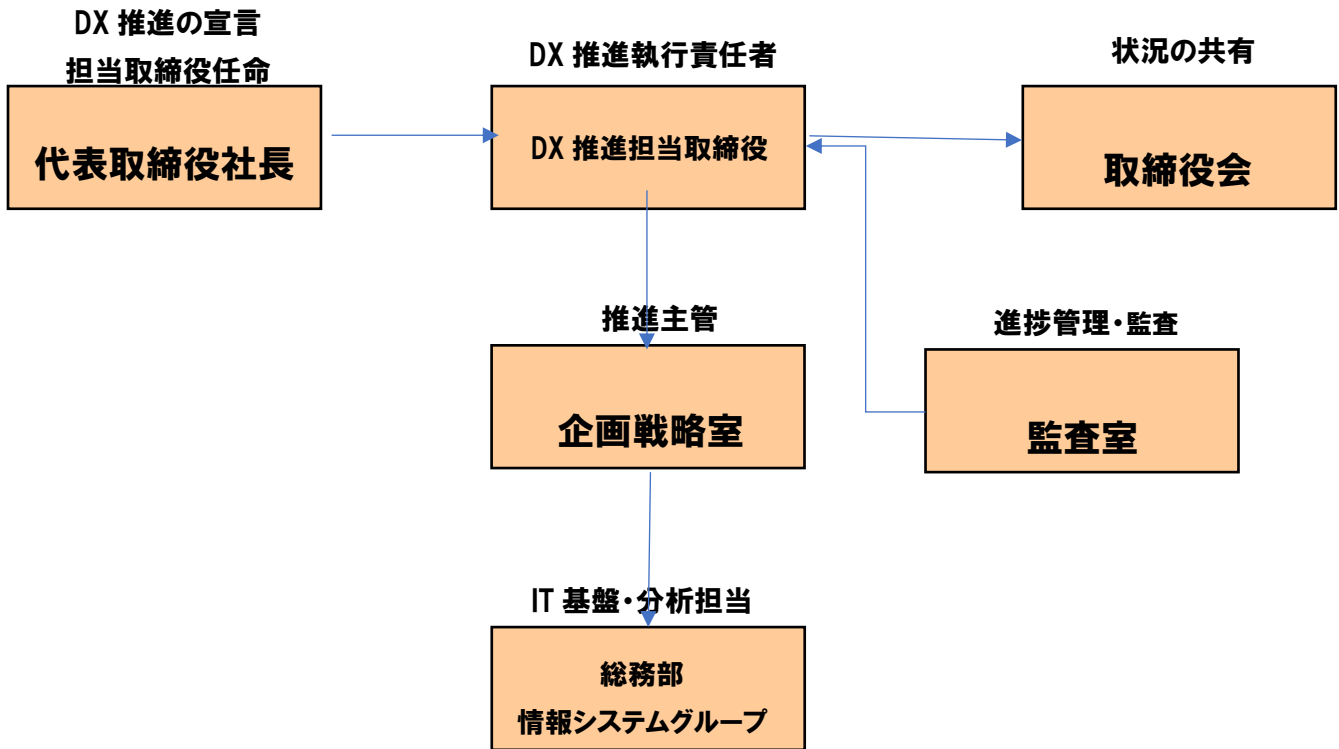
- ・ 3種のISO資格の継続で身に着いたノウハウと同様に実施中

【3】3点の骨子に紐づいた主な施策

- 1) 営業面、人事面、業務処理面においてデータ分析による行動・判断への反映
 - ・ 過去に遡った全社員の人事目標管理シートのリストを作成し、人材成長に活かしていくことを実施中。
 - ・ 営業進捗の進捗分析から早目の対策につなげることを実施中。
 - ・ 他蓄積しているデータ、これから生成されるデータについての分析・考察を積極的におこなうことを計画中。
- 2) 情報セキュリティを維持したIT基盤の充実と業務遂行環境の継続的な提供
 - ・ リモート環境における業務遂行環境の提供。統合ストレージを含めて機能拡大を実施中。
 - ・ 2022年度に予定しているPC環境の刷新と共に、クラウドサービスの割合の増加。
 - ・ 数年をかけて、営業処理フローを見直し、カスタマイズが多い現在の販売管理システムから汎用製品の利用に移行することを検討。
 - ・ ISMSの中で継続的なサイバーセキュリティ対策と運用を実施中。
 - ・ 先端の情報セキュリティ製品・ソリューションを提供中。
- 3) デジタルマーケティングなどの利用によるワーキングスタイルの変革
 - ・ MAサービスを用いたデジタルマーケティングを開始。効果測定と拡大を図る。
 - ・ マーケティング専門部門の設立も含めたマーケティング活動を充実させる。
 - ・ ナリッジデータベースを共通のものにする。

【4】DX 推進体制

下図に示す体制で DX 推進を実施します。今後の状況や解決課題の追加に伴い、役割の追加が考えられます。



【5】DX 推進の実施

前述までの方針・施策をおこない、定期的な PDCA を遂行することによって、DX 推進を実施してまいります。

2020 年度から実施した IT 基盤の整備（第 1 段階）、2021 年度前半に実施したデータ分析方法の試行などの DX 推進準備（第 2 段階）、実運用を 2021 年度後半から 2024 年度末（第 3 段階）とするスケジュールです。

2021 年 10 月 18 日

当社の DX 推進の取り組みについて(2023 年 1 月 18 日追記部分)

DX 推進担当取締役 古田 耕児

=====
2021 年 10 月 18 日に公表した「DX 推進の取組について」【5】DX 推進の実施」
において定めた各段階について、その後の進捗も含めて、期間・内容・指標を記します。

1. IT 基盤の整備（第 1 段階）

1-1. 期間

2020 年度(2020 年 4 月～2021 年 3 月)

1-2. 当段階の主な内容

リモートワーク環境を含む IT 基盤整備

1-3. 当段階の指標：

- ・70%超のテレワーク率における業務遂行を可能にする IT 基盤を整備すること。

1-4. 当段階の進捗

- ・2020 年 4 月からリモート環境における業務遂行の提供。

2. DX 推進準備（第 2 段階）

2-1. 期間

2021 年度前半(2021 年 4 月～2021 年 10 月)

2-2. 当段階の主な内容：

- ・当社の DX 推進の方針・内容を定める
- ・DX 推進の啓蒙、営業・人事既存データの分析

2-3. 当段階の指標：

- ・DX 推進体制を整える
- ・当社の DX 推進の方針・内容を社外公表する
- ・DX 推進の啓蒙教育を実施する
- ・過去の営業・人事既存データ分析をおこなう

2-4. 当段階の進捗

- ・ 2021 年 4 月に当社事業説明会において DX 推進実施を社員に説明
- ・ 2021 年 7 月から営業月報の進捗分析を実施。
- ・ 2021 年 8 月に過去に 10 年間の人事目標管理シートのリスト化完了。
- ・ デジタルマーケティングサービスを 2021 年 10 月から一部部門で利用開始。
- ・ 2021 年 10 月に当社の DX 推進の取組を社外公表

3. 実運用（第 3 段階）

3-1. 期間：2021 年後半～2024 年度(2021 年 11 月～2025 年 3 月)

3-2. 当段階の主な内容：

- ・ 営業面、人事面、業務処理面においてデータ分析の継続
- ・ 情報セキュリティを維持した IT 基盤の充実と業務遂行環境の継続的な提供
- ・ デジタルマーケティングなどの利用によるワーキングスタイルの変革

3-3. 当段階の指標

「中期経営計画」p26「6）DX 推進計画」の「2025 年 3 月までの達成指標」で定めた 3 つの指標についての具体的な指標を説明します。

・「自らの変革」部分

- ・ DX 推進人材を 5 名育成する。
- ・ 営業データ分析を予算策定に活用することによる予算乖離を 2 割削減させる。
- ・ Microsoft365 の導入により、業務ツールの 8 割の統一化を図り、更なるデジタル化を推進する。
- ・ 2025 年 3 月までに営業処理フローを見直し、カスタマイズが多い現在の販売管理システムから汎用製品の利用に移行する方式を作成する。

・「DX 推進に活かせるソリューションの提供」部分

- ・ 情報セキュリティ関連製品、認証関連製品、データ分析関連の製品・サービスを各々最低 1 つずつ開発・販売・提供をおこなっていく。

・「中期経営計画の達成」部分

- ・ 中期経営計画 p15,p16 記載の数値目標を達成する

3-4. 当段階の進捗

- ・ 2022 年 2 月に管理職全員が「DX 推進概要」研修を受講。
- ・ 2022 年 6 月に経費精算システムを導入。電帳法改正にも対応。
- ・ ISMS の中で、グループ会社の NIST 対応の準備を実施。
- ・ 2022 年度新入社員に対して、AI 配属マッチングを利用中。
- ・ DX 関連ソリューションとして、EDR、顔認証、SSO サービスを販売開始。
- ・ マーケティング専門部門の設立の検討を実施済。
- ・ 2022 年度に「デジタル思考」「ロジカル報連相」の外部研修を実施。

- ・ 2022 年 6 月から SFA による営業活動管理を一部部門で実施中。
- ・ 2022 年デジタルの日に賛同表明。社内において「DX 啓蒙週間」を開催。
- ・ 2022 年 9 月に PC 環境を刷新。同時に Microsoft365 を導入。
- ・ 2022 年 9 月開始の経産省「マナビ DX」に中堅社員が参加。

2023 年 1 月 18 日